

JA ってどんな あいら 存在？



「必要とされるJA」をめざして

JA では地域から必要とされる JA を目指し、昨年 9 月に組合員を対象としたアンケートを実施しました。

正組合員と准組合員それぞれに JA との繋がりや今後期待することなどを回答してもらい組合員ニーズの「見える化」を図りました。

アンケート結果については、今後の JA 事業に反映させるとともに、自己改革の取り組みとしてスピード感を持って進めて参ります。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

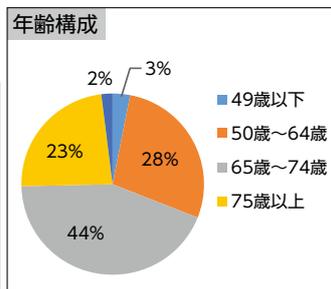
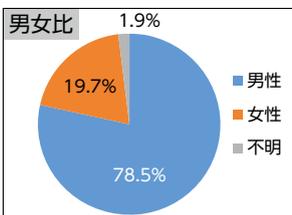
調査概要

■実査日程 平成29年9月15日～29年9月30日

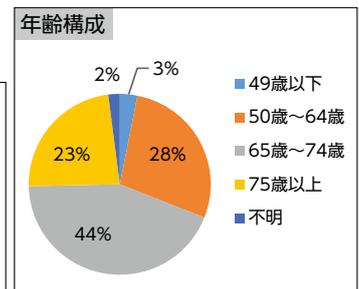
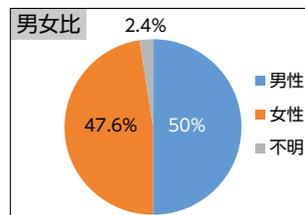
■対象者 正組合員1,000名、准組合員2,000名

■対象者 正組合員483名(回答率48.3%)・准組合員660名(回答率33.0%)

正組合員



准組合員



1 ①JAあいらに対する意識 (各10点満点) … 「意識点」

【正組合員】

平均点 全国平均

JAに親しみを感じる	7.2点	6.4点
JAは自分にとって必要な組織だ	7.6点	6.5点
JAと企業の違いがよく分かる	5.4点	4.9点

【准組合員】

平均点 全国平均

JAに親しみを感じる	7.2点	6.4点
JAは自分にとって必要な組織だ	6.9点	5.9点
JAと企業の違いがよく分かる	5.0点	4.3点

2 ②JAあいらでの事業利用・組織参加 (各10点満点) … 「行動点」

【正組合員】

平均点 全国平均

事業利用	営農事業	4.9点	3.3点
	信用・共済事業	5.1点	4.5点
	生活事業	5.4点	3.0点
活動への参加		4.7点	5.1点
組合員組織への加入		4.8点	4.3点
意思反映の場への参加		4.7点	4.2点
事業運営参画		5.5点	5.1点

【准組合員】

平均点 全国平均

事業利用	営農事業	1.7点	1.2点
	信用・共済事業	3.9点	3.6点
	生活事業	4.2点	2.7点
活動への参加		3.0点	4.0点
組合員組織への加入		1.9点	1.7点
意思反映の場への参加		1.3点	0.7点
事業運営参画		1.2点	1.0点

3 JAあいらに期待する活動

正組員

● 高齢者の生きがいづくりのための活動	30.6%
● 営農塾等の栽培技術を学ぶ講座	25.3%
● 農業所得の向上や起業のためのビジネス講座	23.2%
● 地域環境をよくするための活動	19.3%
● 地域の皆が集まれるお祭り等のイベント	15.9%
● 旅行・コンサートなどのレクリエーションイベント	12.0%
● 介護や福祉に関わる活動	11.4%
● 子どもたちへの農業体験（食農教育）	10.4%
● 有志による技術開発のサポート	10.1%
● 料理・農産物加工等の教室	9.9%
● 趣味等に応じて仲間が集まれるサークル活動	9.1%
● 市民農園・体験型農園	5.2%

准組員

● 高齢者の生きがいづくりのための活動	28.5%
● 料理・農産物加工等の教室	20.8%
● 子どもたちへの農業体験（食農教育）	19.4%
● 営農塾等の栽培技術を学ぶ講座	18.9%
● 旅行・コンサートなどのレクリエーションイベント	18.9%
● 地域環境をよくするための活動	18.6%
● 地域の皆が集まれるお祭り等のイベント	17.6%
● 介護や福祉に関わる活動	14.8%
● 趣味等に応じて仲間が集まれるサークル活動	12.7%
● 市民農園・体験型農園	8.8%
● 農業所得の向上や起業のためのビジネス講座	8.2%
● 有志による技術開発のサポート	2.7%

4 JAあいらに期待する役割

正組員

● 地域農業の振興、担い手経営の支援、農地の保全など、農業の支援	72.7%
● 安心できる農産物、食料品の提供	51.8%
● 健康、福祉、介護を含む地域生活の幅広いサポート	33.5%
● 身近で安心できる金融サービスの提供（資産管理や相続などの相談を含む）	31.5%

准組員

● 安心できる農産物、食料品の提供	70.5%
● 地域農業の振興、担い手経営の支援、農地の保全など、農業の支援	53.6%
● 健康、福祉、介護を含む地域生活の幅広いサポート	43.8%
● 身近で安心できる金融サービスの提供（資産管理や相続などの相談を含む）	36.7%

5 全体考察（JC総研）

【組合員の期待】

組合員がJAに最も期待している役割が、正組員は『農』（地域農業の振興）、准組員は『食』（安心できる農産物、食料品の提供）と分かる。正組員は、事業利用の「営農」点は全国平均を大きく上回り、また意識点についても高い水準にある。准組員では、「A コープ」を月に複数回以上利用する割合は82%と高い水準にあり、また「食べて応援」の実践割合も92%と全国平均を大きく上回っており、期待に沿った事業運営をある程度できているといえる。

【行動点・意識点のモデル JA・全国平均との比較】

正組員は、「活動参加」を除く全ての項目で全国平均を上回り、特に「営農事業」「生活事業」で全国平均を大きく上回っている。准組員は、「生活事業」で全国平均を大きく上回っており、「親しみ」「必要性」は正准ともに全国平均を大きく上回っている。

【当JAの強み：正・准組員の「事業利用」、「組合員組織加入」】

JAあいらの強みは、正・准組員の「組合員組織加入」「事業利用」率の高さ、すなわち高いメンバーシップにあるといえる。

- ア. 組合員組織加入⇒正組員の69%、准組員の32%が組合員組織に参加している。
- イ. 事業の複合利用⇒正組員の89%、准組員の93%が事業の複合利用を実践している。
「営農+信用共済+生活」利用も正組員の71%、准組員の47%と高い水準となっている。
- ウ. 意思反映⇒正組員の68%、准組員の25%が会合（総代会・総代会前地区別説明会・各生産者部会・女性部総会）への出席経験がある。
- エ. 事業運営参画⇒正組員の55%、准組員の12%に役員経験（理事・監事・総代・協力員・青年部・女性部・年金友の会・各種生産部会等）がある。

【当JAの課題：「活動参加」】

正・准組員ともに「活動参加」が低位であり、特に正組員では男性の若年層、准組員では男女ともに若年層において「活動参加」が低位となっている。よって、これらのタイプのニーズをふまえた活動の企画・実践や参加呼びかけの強化などが求められる。

また、正・准組員ともに『農』『食』への期待は全国平均と比較して高く、関心は高い傾向にあると考えられることから、幅広い種類の組合員や地域住民を対象に、『食』『農』に関する情報発信を強化する活動（JA祭り、支店・支所におけるイベント等）の企画をし、正・准組員のメンバーシップ強化に努める必要がある。

JAあいらの今後の取組み

正組員については、特に営農関連事業について、担い手経営体のニーズを踏まえた事業展開を図る事で、より一層の利用促進に繋がられるよう取り組んでいきます。
准組員については、「食」「農」への関心をさらに深めてもらえるよう親子で参加できる体験型の農業イベントやJA祭り、支店・支所におけるイベント等の開催に取り組んでいきます。

本件に対するお問い合わせ先 JAあいら 経営企画室 Tel 0995-56-7111